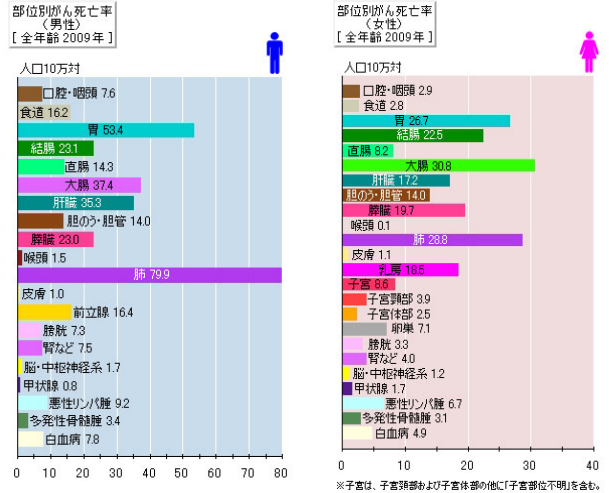


天理市立メディカルセンター 低線量CT肺がん検診について

肺がんはがん死亡原因の第1位です

現在、我が国においてがん死亡原因の第1位は、1998年以降胃癌を抜いて肺がんが1位です。男女別に見ても、男性は1993年からがん死亡原因のトップとなり、女性では大腸がんに次いで2位となっています。

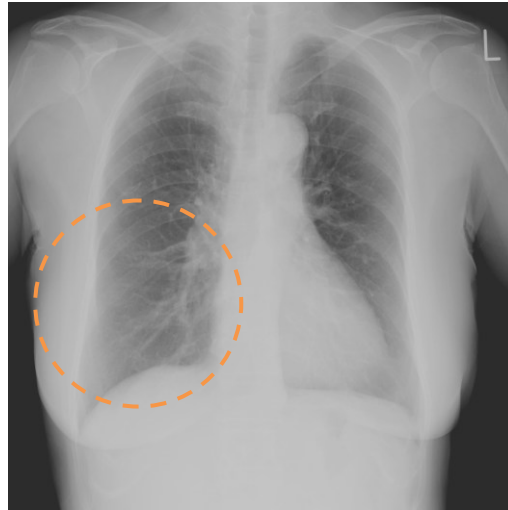
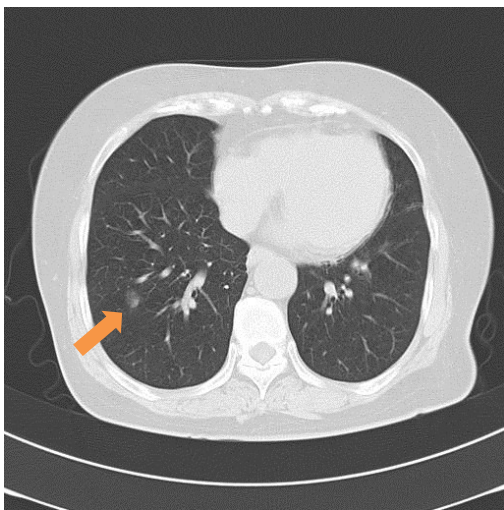
肺がんによる死亡数が増え続ける要因としては、第一に喫煙習慣とされており、その他車などの排気ガスによる大気汚染などが考えられます。また、肺がんと診断された人の5年生存率は、平均で10数%という治りにくいがんであることも、肺がん死亡者数を増加させる要因となっています。



一般的な肺がん検診とは？

肺がんは、胸部X線写真で見つけることができるため、胸部X線写真による検診が行なわれてきました。しかし、X線写真では、肺の中を走行する血管や肋骨、心臓などの影に邪魔されてがんを見つけにくくしています。そのため、小さい早期の状態では発見されにくく、大きくなってから発見されることも少なくありません。そのことから肺がんは、「治せる早期のうちに見つかりにくいがん」の代表とも言われています。2007年に厚生労働省の研究班報告でも、肺がん死亡率を減少させるための検診には、肺全体をくまなく検査できるCTなどの新たな手法の導入が今後必要と勧告されています。

国立がん研究センターがん対策情報センター:がん統計より



CT 写真上(左図)、約2cm の大きさではあるが、非常に淡い腫瘍であるため、レントゲン写真(右図)では確認できない。

肺がんはなぜCT検診なのか？

CTによる肺がん検診の可能性というものは、1993年頃から「東京から肺がんをなくす会」がCTを用いた検診を行い、肺がん検診にCTを導入することで治せるうちに発見されるがんが増加し、生存率を上げることが期待できることを示した。

2010年11月には、全米肺検診臨床試験(NLST)の無作為化比較試験(RCT)の結果として、低線量ヘリカルCT検診を導入することで、胸部X線による検診群よりもヘビースモーカーの肺癌死亡率が20%低減でき、また肺癌以外の死亡率もCT検査群では7%低減され、明らかな有効性をもたらすことが報告された。そのことは、「治せる早期のうちがんを見つける」ことができることを期待するものである。

肺がんの罹患原因は喫煙習慣です

肺がんの最も重要な原因は、喫煙であります。喫煙は、肺がんの罹患者の75～90%に影響していると言われています。特に、40歳以上で喫煙指数(ブリクマン指数=1日当たりの平均喫煙量(本数)×喫煙をしていた年数)が600以上の場合、非喫煙者に比べて扁平上皮がんが21倍以上、腺がんでも2.4倍もの死亡率の増加があるとされています。また、非喫煙者であっても喫煙者が家族にいる場合、その受動喫煙も危険率の増加につながるとされています。肺がんの1次予防は禁煙であり、二次予防が単純写真やCT検査による検診とされています。禁煙を積極的に推進することから始める必要があります。

ブリクマン指数:Brinkman Index(喫煙指数:発ガンの時期の目安になる指標)

ブリクマン指数=1日当たりの平均喫煙量(本数)×喫煙をしていた年数

(例) 1日20本を30年間喫煙している方は、 $BI=20 \times 30=600$

1日30本を20年間喫煙している方は、 $BI=30 \times 20=600$

低線量CT肺がん検診の適応基準

対象Ⅰ :50歳以上75歳以下の喫煙指数600以上の方

1年に1回のCT検診をお勧めします。

対象Ⅱ :50歳以上75歳以下の非喫煙者および喫煙指数600未満の方

最初2年連続して行い、その後は3年ごとのCT検診をお勧めします。

対象Ⅲ :40歳以上50歳未満の方

5年に1回のCT検診をお勧めします。

対象Ⅳ :75歳以上の方

基本的には任意とします。但し、2～3年に1回程度のCT検診をお勧めします。

特に受診をお勧めする方

1. 男性、女性とも年齢が40歳を超えた方。
2. たばこを20年以上吸っている方。
3. 夫(妻)、家族がヘビースモーカーで、受動喫煙が心配の方。
4. 血縁者にがん(肺がん)のある方。
5. 日頃から咳・痰(痰に血が混じる)が出る、深呼吸すると胸が痛い方。
6. アスベストなどを取り扱う業務に従事されていた方、および生活環境において暴露が心配な方。

天理市立病院での低線量CT肺がん検診

■16列マルチスライスCTで、約5～10秒の呼吸停止にて撮影します。検査の所要時間は、5分程です。

■被曝線量は1mSv以下と、胸部X線写真の約5～8倍程、従来の胸部CT検査の1/5～1/8です。

■本検査では健康保険は適応されません。費用は自己負担です。

■検査費用は、5,250円となっております。

但し、天理市在住の40歳以上の方は、3年に1回一部公費負担を受けることができます。

その期間以外に受けられる場合は、全額自己負担(5,250円)となります。

■検査結果は、2週間以内に結果報告をご自宅へ郵送致します。

低線量CT肺がん検診の受診方法

1) 受診の予約は電話予約が原則です。ただし直接外来に来られた方もお受け致します。

電話受付時間午前9時から午後5時まで、電話番号 0743 63 1821(内線172)地域連絡室までご連絡下さい。

2) 検査日時:平日、土曜日の午前9時から午後4時30分までの時間帯。(日、月曜日・祝日、年末年始は除く)